



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

上場会社名 日本調剤株式会社 上場取引所 東
コード番号 3341 URL <https://www.nicho.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 三津原 庸介
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 加藤 慶 TEL 03-6810-0800
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	166,310	9.2	7,573	7.0	3,397	20.8	3,367	18.2	1,748	8.7
2023年3月期第2四半期	152,331	4.2	7,079	9.3	2,813	16.4	2,849	12.7	1,607	19.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,750百万円 (8.4%) 2023年3月期第2四半期 1,615百万円 (19.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	58.44	—
2023年3月期第2四半期	53.66	—

(注) EBITDA= (営業利益+減価償却費+のれん償却費)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	193,453	57,863	29.9
2023年3月期	185,297	56,483	30.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 57,863百万円 2023年3月期 56,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
2024年3月期	—	12.50	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	337,100	7.6	17,300	5.9	8,400	10.7	8,300	8.0	4,300	△3.6	143.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	32,048,000株	2023年3月期	32,048,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,130,651株	2023年3月期	2,133,695株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	29,915,728株	2023年3月期2Q	29,966,230株

（注）期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が所有する当社株式（2024年3月期2Q 69,016株、2023年3月期 72,200株）が含まれております。また、役員報酬BIP信託が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報による当社の判断及び仮定に基づく予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。また、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想等とは大きく異なる結果となる場合があります。

(2) 四半期決算補足説明資料の入手方法

当社は、2023年11月9日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料についてはTDnetにて開示し、当社ホームページへも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の分類が5類感染症へ移行したこと等により社会経済活動の正常化が進み、景気は持ち直しの動きがみられました。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかな回復が続くことが期待されておりますが、物価上昇や海外景気の下振れリスク等の影響に十分注意すべき状況が続いております。

このような経済情勢のもと、当社グループでは、「すべての人の『生きる』に向き合う」を使命とするヘルスケアグループとして、良質な医療サービス及び医薬品の提供に取り組んでおります。また、同時に全社を挙げたコスト抑制にも継続して取り組んでおります。

2023年8月には、国際連合が提唱する「国連グローバル・コンパクト（UNGC）」に署名しました。UNGCは、企業が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することで、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための枠組みであり、人権・労働・環境・腐敗防止の4分野で10原則を支持・遵守するよう求めています。当社グループは、これらの原則を支持・遵守し、サステナビリティ経営を推進することで、世界の持続可能な成長の実現に貢献してまいります。

調剤薬局事業においては、電子処方箋対応薬局を拡大し、全国665薬局（9月末時点）での対応を開始しております。さらに、会員数160万人を有する自社開発の電子お薬手帳「お薬手帳プラス」とマイナポータル連携機能を拡張し、新たに電子処方箋の処方情報・調剤情報の取り込みが可能となりました。これにより患者さまは、複数の医療機関・薬局をまたがる過去からの薬剤情報を「お薬手帳プラス」内で一元的に管理・確認することが可能となります。

また、Wolt Japan株式会社とパートナーシップを締結し、一部店舗で処方薬の即時配送サービスを開始するとともに、ジークス株式会社が運営する小児特化のオンライン診療サービス「あんよonline」の提携薬局として、当社グループの一部薬局でオンライン診療後の処方薬の受け渡し対応を開始しました。さらに、LINEヘルスケア株式会社が提供するオンライン診療「LINEドクター」に追加された、処方薬の「登録薬局での対面受け取り」サービスに当社グループの一部薬局において対応を開始するなど、オンライン医療をはじめとした多様なニーズに応え、患者さまの医療アクセス及び利便性の向上に資するアライアンスを積極的に実施しております。

医薬品製造販売事業においては、ジェネリック医薬品の品質管理と安定供給を最優先しつつ、研究開発投資による新規薬価収載品を含む自社製造品の拡大及び生産性の向上に取り組んでおります。2023年6月及び9月には、新規薬価収載品合計6品目を発売しました。安定供給に向けては、業界全体の供給不安や2021年11月の西日本物流センターの火災の影響等により、多くの販売品目について限定出荷を行っていましたが、安定供給体制が整った製品から順次通常出荷に戻しております。2023年9月末時点での限定出荷品目数は145品目となっており、引き続き供給責任を果たすべく取り組みを進めてまいります。

医療従事者派遣・紹介事業においては、医師紹介事業における新型コロナワクチン接種関連需要が一段落した一方、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた主力である薬剤師の派遣・紹介事業が引き続き回復傾向にあります。また産業医事業においても需要が拡大しており、企業の健康経営への貢献をさらに推し進めてまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高166,310百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益3,397百万円（同20.8%増）、経常利益3,367百万円（同18.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,748百万円（同8.7%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下の通りです。

①調剤薬局事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は147,605百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益は6,016百万円（同0.4%増）となりました。9月末時点での総店舗数は、同期間に19店舗の新規出店、11店舗の閉店を行った結果、計726店舗となりました。売上高及び営業利益につきましては、前年度の出店効果及び処方箋枚数の増加等により増収増益となりました。なお、国が2023年度末までにすべての都道府県で80%以上とすることを目標として掲げているジェネリック医薬品の数量ベース使用割合は、当社グループでは9月末時点ですべての都道府県において80%を達成しており、全社平均では88.2%（供給停止品目等を算出対象から除外して計算）に達しております。また、

在宅医療実施店舗の割合は97.1%（年間12件以上実施の店舗割合）と順調に推移しております。

②医薬品製造販売事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は20,487百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は167百万円（前年同期は396百万円の損失）となりました。売上高及び営業利益につきましては、2023年4月の薬価改定に伴う既存販売品の販売価格の下落、一部製品の限定出荷の影響を受けたものの、既存販売品及び新規薬価収載品の堅調な販売により増収増益となりました。なお、2023年9月末時点での販売品目数は、販売品目の見直しを進めるとともに、2023年6月及び9月に新規薬価収載品合計6品目を発売したこと等により564品目（一般用医薬品2品目を含む）となりました。

③医療従事者派遣・紹介事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は4,945百万円（前年同期比24.9%増）、営業利益は698百万円（同39.4%増）となりました。売上高及び営業利益につきましては、医師を中心とした新型コロナワクチン接種関連売上が減少する一方、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた薬剤師の派遣・紹介実績が前年同期を上回ったこと等により増収増益となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は193,453百万円となり、前連結会計年度末の185,297百万円に対し、8,156百万円、4.4%増加いたしました。主に商品及び製品の増加によるものです。

負債合計は135,590百万円となり、前連結会計年度末の128,814百万円に対し、6,776百万円、5.3%増加いたしました。主に、買掛金の増加によるものです。

純資産合計は57,863百万円となり、前連結会計年度末の56,483百万円に対し、1,380百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は29.9%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが11,900百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが8,019百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが5,425百万円の支出となりました。この結果現金及び現金同等物の四半期末残高は前連結会計年度末に対して1,544百万円減少し、22,226百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」では、主な収入項目は、仕入債務の増加額9,844百万円であり、主な支出項目は、棚卸資産の増加額5,671百万円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」では、主な支出項目は、調剤薬局事業における既存設備の整備及び新規出店などによる投資を主とした有形固定資産の取得による支出3,526百万円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」では、主な収入項目は、長期借入れによる収入5,500百万円であり、主な支出項目は、長期借入金の返済による支出8,477百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、2023年4月28日に公表いたしました数値を修正しております。内容につきましては、本日（2023年10月31日）公表いたしました「2024年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,770	22,226
受取手形	70	48
売掛金及び契約資産	21,246	20,308
電子記録債権	437	236
商品及び製品	28,416	34,177
仕掛品	1,742	1,698
原材料及び貯蔵品	6,021	6,023
その他	4,022	4,468
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	85,720	89,181
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,361	29,098
土地	13,377	13,346
建設仮勘定	1,828	1,745
その他（純額）	17,867	17,452
有形固定資産合計	61,435	61,643
無形固定資産		
のれん	14,195	13,700
その他	5,377	6,866
無形固定資産合計	19,573	20,566
投資その他の資産		
投資有価証券	16	16
敷金及び保証金	9,160	11,652
その他	9,391	10,393
投資その他の資産合計	18,568	22,062
固定資産合計	99,576	104,272
資産合計	185,297	193,453

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	47,916	57,136
電子記録債務	1,476	2,176
短期借入金	2,000	-
1年内返済予定の長期借入金	10,390	10,800
未払法人税等	2,640	1,961
賞与引当金	3,892	4,445
役員賞与引当金	68	-
その他	8,665	9,612
流動負債合計	77,050	86,132
固定負債		
長期借入金	44,640	41,253
役員退職慰労引当金	79	86
退職給付に係る負債	2,464	2,575
その他	4,579	5,542
固定負債合計	51,763	49,457
負債合計	128,814	135,590
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,953	3,953
資本剰余金	10,926	10,926
利益剰余金	45,216	46,589
自己株式	△3,600	△3,596
株主資本合計	56,495	57,873
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△12	△10
その他の包括利益累計額合計	△12	△10
純資産合計	56,483	57,863
負債純資産合計	185,297	193,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)
売上高	152,331	166,310
売上原価	125,930	138,761
売上総利益	26,400	27,548
販売費及び一般管理費	23,587	24,150
営業利益	2,813	3,397
営業外収益		
受取手数料	19	23
受取賃貸料	290	306
受取保険金	51	11
補助金収入	21	22
その他	161	113
営業外収益合計	544	477
営業外費用		
支払利息	133	178
支払賃借料	218	197
その他	156	132
営業外費用合計	508	508
経常利益	2,849	3,367
特別利益		
固定資産売却益	47	51
受取補償金	120	32
特別利益合計	167	84
特別損失		
減損損失	114	71
固定資産売却損	51	0
特別損失合計	166	72
税金等調整前四半期純利益	2,850	3,378
法人税、住民税及び事業税	1,094	1,702
法人税等調整額	148	△71
法人税等合計	1,243	1,630
四半期純利益	1,607	1,748
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,607	1,748

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,607	1,748
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	7	2
その他の包括利益合計	7	2
四半期包括利益	1,615	1,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,615	1,750

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,850	3,378
減価償却費	3,249	3,212
減損損失	114	71
のれん償却額	983	939
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	234	550
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△45	△68
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	92	111
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△49	7
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	133	178
固定資産売却損益 (△は益)	3	△50
売上債権の増減額 (△は増加)	1,766	1,218
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△12,027	△5,671
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,096	9,844
その他	609	510
小計	3,011	14,232
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△83	△83
法人税等の支払額	△1,920	△2,248
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,007	11,900
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,014	△3,526
有形固定資産の売却による収入	380	26
無形固定資産の取得による支出	△1,016	△1,351
長期前払費用の取得による支出	△31	△32
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,433	△273
事業譲受による支出	△316	△275
貸付金の実行による支出	△1,731	-
貸付金の回収による収入	39	32
敷金及び保証金の差入による支出	△623	△2,658
敷金及び保証金の回収による収入	155	59
その他	△36	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,628	△8,019

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	800	△2,000
長期借入れによる収入	12,000	5,500
長期借入金の返済による支出	△9,483	△8,477
自己株式の取得による支出	△100	△0
配当金の支払額	△374	△374
その他	△305	△72
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,536	△5,425
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,084	△1,544
現金及び現金同等物の期首残高	25,543	23,770
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,458	22,226

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	136,178	12,202	3,950	152,331	—	152,331
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	6,991	9	7,002	△7,002	—
計	136,180	19,194	3,959	159,333	△7,002	152,331
セグメント利益又は損失(△)	5,993	△396	500	6,097	△3,283	2,813

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△3,283百万円にはセグメント間取引消去△26百万円及び全社費用△3,256百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、店舗資産(2店舗)等の減損損失62百万円を計上しております。また、「医薬品製造販売事業」セグメントにおいて、工場設備の一部について減損損失52百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	147,605	13,773	4,931	166,310	—	166,310
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,713	14	6,728	△6,728	—
計	147,605	20,487	4,945	173,038	△6,728	166,310
セグメント利益又は損失(△)	6,016	167	698	6,882	△3,484	3,397

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△3,484百万円にはセグメント間取引消去△126百万円及び全社費用△3,357百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、店舗資産(1店舗)等の減損損失71百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。